

「ネオニコチノイド系農薬の汚染」に関する報道について

2017年8月28日（月）以降、「ミツバチや蜂蜜がネオニコチノイドに汚染されている」という内容の報道が一部マスコミからなされました。

ネオニコチノイド系農薬においては、2006年の秋以降、アメリカで大量のミツバチが失踪したニュースに端を発し、日本を含む世界中で同じ状況が発生している「蜂群崩壊症候群（CCD）」の原因ではないかと発表され、当社も大変懸念しておりました。

ネオニコチノイド系農薬は、昆虫の神経をかく乱させることで毒性を発揮すると言われております。特にミツバチは、自然環境の変化や環境汚染に敏感な生き物なので、被害が大きくなっております。すでにヨーロッパでは、一部のネオニコチノイド系農薬が「人の脳や神経の発達に悪影響を及ぼす可能性がある」として、2013年12月から使用禁止となっております。

当社は全ての蜂蜜において、ネオニコチノイドに限らず、農薬や抗生物質などが混入してはいけなく考えております。当社の品質保証部では、ネオニコチノイド系農薬はもちろん、抗生物質や重金属、放射性物質など340項目以上（※別紙1参照）の検査を行い、合格した原料のみを使用しております。

この度のニュースに関して、心配される方がおられるかもしれませんが、当社の商品においては、ネオニコチノイド系農薬が含まれた原料は、使用されておりませんのでご安心ください。

■山田養蜂場の基本姿勢

世界中でネオニコチノイドの危険性が発表される中、当社のみつばち健康科学研究所では、10年前よりこのCCDの原因解明の研究を進めるため、みつばち研究助成基金を設立し、全国の研究者とこの問題の解明に取り組んでおります。

また、2014年6月には、農林水産省から「ミツバチ被害事例調査結果」が発表され、79件の被害事例が報告されました。調査結果では、被害にあった養蜂場の周辺で水稻栽培が行われており、被害発生直前にカメムシ防除のためのネオニコチノイドが散布された事も報告されております。

日本国内においては、現在、製造禁止になっているDDTやBHCなどの農薬も、かつては夢の新薬として歓迎され、大量に使用されていた歴史があります。手遅れにならないうちに、未来に繋がる正しい選択をするべき時に来ているのだと思います。

ネオニコチノイド系農薬は、稲をはじめとした様々な作物や家庭菜園、シロアリ駆除、ペットのノミ駆除などに使用されており（※別紙2参照）、昆虫の神経をかく乱させることで毒性を発揮すると言われております。

ネオニコチノイド系農薬が従来の殺虫剤と異なるのは、「ニコチン性アセチルコリン受容体」というたんぱく質に作用する点です。この受容体は、昆虫では中枢神経系に、人間を含めた哺乳類では中枢神経系や自立神経節、白血球などに存在します。

このことから、昆虫の神経を侵すネオニコチノイド系農薬が、人間の健康にも影響するはずだと当社では考えており、原料や製品に関する徹底した品質管理を行っておりますので、ご安心ください。

これからも、私たち山田養蜂場は、ミツバチから学んだ自然との共生という理念のもとに、この養蜂文化を守りながら、食品メーカーとして全国のお客様に安全な商品をお届けするという義務を果たしてまいります。

2017年8月31日
株式会社 山田養蜂場

山田養蜂場の蜂蜜の品質検査項目

アセタミプリド	イミダクロプリド	クロチアニジン	ジノテフラン	チアクロプリド
チアトキサム	ニテンピラム	テトラコナゾール	メチダチオン	テフルトリン
フェニトロチオン	trans-クロルデン	α-エンドスルファン	β-エンドスルファン	トリクロルホン
エンドリン	フェナミホス	ヘプタクロル	オルトフェニルフェノール	4,4-ジブロモベンゾフェノン
アセフェート	アセトクロール	アクリナトリン	アラクロール	アリドクロール
アメリン	アトラジン	アザコナゾール	アジンホスエチル	アジンホスメチル
アゾキシストロビン	ベンダイオカルブ	ベンフレゼート	ピフェナゼート	ピフェノックス
ピフェントリン	ピオレスメリン	ピテルタノール	ボスカリド	ブロムフェンペンホスメチル
プロモブチド	プロモホスエチル	プロモプロピレート	ブピリメート	ブプロフェジン
ブタクロール	ブタフェナシル	ブタミホス	ブチレート	カズサホス
カフェンストール	カルバリル	カルベンダジム	カルフェントラゾンエチル	カルプロバミド
クローベンシド	クローブファム	クローフェナビル	クローフェンゾン	クローフェンペンホス
クローフルアズロン	クローベンジレート	クローネブ	クロープロファム	クローピリホス
クローピリホスメチル	クロータールジメチル	クローマフェノジド	シンメチリン	cis-クロールデン
クロージナホッププロパルギル	クローフェンテジン	クローマゾン	クローキントセットメキシル	クマホス
シアナジン	シアノフェンホス	シアノホス	シフルフェナミド	シフルメトフェン
シフルトリン	シハロホップブチル	シハロトリン	シベルメトリン	シプロコナゾール
シプロジニル	デルタメリン&トラロメリン	デメトン-S-メチル	ダイアジン	ジクロベニル
ジクロフェンチオン	ジクロルボス&ナレド	ジクロシメット	ジコホール	ジクロトホス
ディルドリン	ジエトフェンカルブ	ジフェノコナゾール	ジフルベンズロン	ジフルフェニカン
ジメタメリン	ジメテナミド	ジメチピン	ジメトエート	ジメトモルフ
ジメチルペンホス	ジスルホトン	ジチオビル	ジウロン	エディフェンホス
EPN	EPTC	エスプロカルブ	エタルフルラリン	エチオフェンカルブ
エチオフェンカルブスルホソ	エチオフェンカルブスルホキシド	エチオン	エチプロール	エトフメゼート
エトプロホス	エチクロゼート	エトフェンプロックス	エトキサゾール	エトリジアゾール
エトリムホス	フェンアミドン	フェナリモル	フェンブコナゾール	フェノバカルブ
フェノチオカルブ	フェノキサニル	フェノキシカルブ	フェンプロバトリン	フェンピロキシメート
フェンシルホチオン	フェンチオン	フェンバレレート & エスフェンバレレート	フェリムゾン	フロニカミド
フルアクリリウム	フルアジナム	フルベンジアミド	フルシトリネート	フルシオキシニル
フルフェノクスロン	フルミオキサジン	フルオメツロン	フルキンコナゾール	フルシラゾール
フルトラニル	フルトリアホール	ホスチアゼート	フサライド	フラトピル
ハルフェンプロックス	ヘプタクロルエポキシド	ヘキサコナゾール	ヘキシチアゾクス	イマザメタベンズメチル
イミベンコナゾール	インドキサカルブ	イブコナゾール	イブペンホス	イブロジオン
イブロジオン代謝物	イサゾホス	イソフェンホス	イソフェンホスメチル	イソプロカルブ
イソプロチオラン	イソキサチオン	クレソキシムメチル	ラクトフェン	レナシル
リンデン	リニューロン	ルフェヌロン	マラチオン	メカルバム
メフェナゼット	メフェンピルジエチル	メパニピリム	メプロニル	メタラキシル&メフェノキサム
メコナゾール	メタベンズチアズロン	メタクリホス	メタミドホス	メソミル
メブレ	メキシクロール	メキシフェノジド	メトラクロール&S-メトラクロール	メミノストロビン
ミルベメクテン	モリネート	モノクロトホス	ミクロブタニル	ナフトアレナセタミド
ナプロバミド	ニトロタールイソプロピル	o,p'-DDD	o,p'-DDE	o,p'-DDT
オメトエート	オリサストロビン	オキサベトリニル	オキサジアルギル	オキサジアゾン
オキサジキシル	オキシソリニック酸	オキシフルオルフェン	o,p'-DDD	o,p'-DDE
o,p'-DDT	パクロブトラゾール	パラチオン	パラチオンメチル	ペフラゾエート
ペンコナゾール	ペンシクロン	ペンディメタリン	ペルメトリン	フェントエート
ホレート	ホサロン	ホスメット	ホスファミドン	ピコリナフェン
ピベロニルブトキシド	ピリミカーブ	ピリミホスエチル	ピリミホスメチル	プレチラクロール
プロベナゾール	プロクロラズ	プロシミドン	プロフェノホス	プロヒドロジャスモン
プロメリン	プロパホス	プロパニル	プロパルギット	プロファム
プロピコナゾール	プロボキシル(プロボクスル)	プロピザミド	プロチオホス	ピメロジン
ピラクロホス	ピラクロストロビン	ピラフルフェンエチル	ピリプチカルブ	ピリダベン
ピリダフェンチオン	ピリフェノックス	ピリメタニル	ピリミジフェン	ピリミノバックメチル
ピリプロキシフェン	ピロキロン	キナルホス	キノクラミン	キノキシフェン
サリチオン(ジオキサベンゾホス)	セトキシジム	シラフルオフエン	シマジン	シメコナゾール
シメリン	スピノサド	スピロジクロフェン	スルホテップ	スルプロホス
テブコナゾール	テブフェノジド	テブフェンピラド	テブチウロン	テクナゼン
テフルベンズロン	ターバシル	テルブホス	テルブチラジン	テトラジホン
テニルクロール	チフルザミド	チオベンカルブ	チオジカルブ	チオメトン
チオファネートメチル	チアジニル	トルクロホスメチル	トルフェンピラド	トリアジメホン
トリアジメノール	トリアゾホス	トリブホス	トリシクラゾール	トリフロキシストロビン
トリフルミゾール	トリフルミゾール代謝物	トリフルムロン	トリフルラリン	トリホリン
ウニコナゾール P	バミドチオン	ピンクロプリン	XMC	ソキサミド
α-BHC	β-BHC	δ-BHC	フィプロニル	フルバリネート
アルドリン	アミラズ	オキシテトラサイクリン	クローテトラサイクリン	テトラサイクリン
ストレプトマイシン	ジヒドロストレプトマイシン	クローラムフェニコール	鉛	カドミウム
ヒ素	総水銀	一般生菌数	大腸菌群	風味
色	水分	糖度	果糖およびブドウ糖含有量	ショ糖含有量
H.M.F (Hydroxymethylfurfural)	でん粉デキストリン反応	電気伝導度	酸度	花粉
ジアスターゼ活性	放射能	異性化糖検査		

ネオニコチノイド系農薬？

Systemic pesticides?

農地や松林などで害虫駆除剤として
大量に使われています。



家庭や身の回りでも使われています。***



典拠 一般社団法人 act beyond trust ホームページより
<http://www.actbeyondtrust.org/project-neonico/>